



2024年度 一般社団法人小樽青年会議所

いぶき

題字：橋本 喜生子



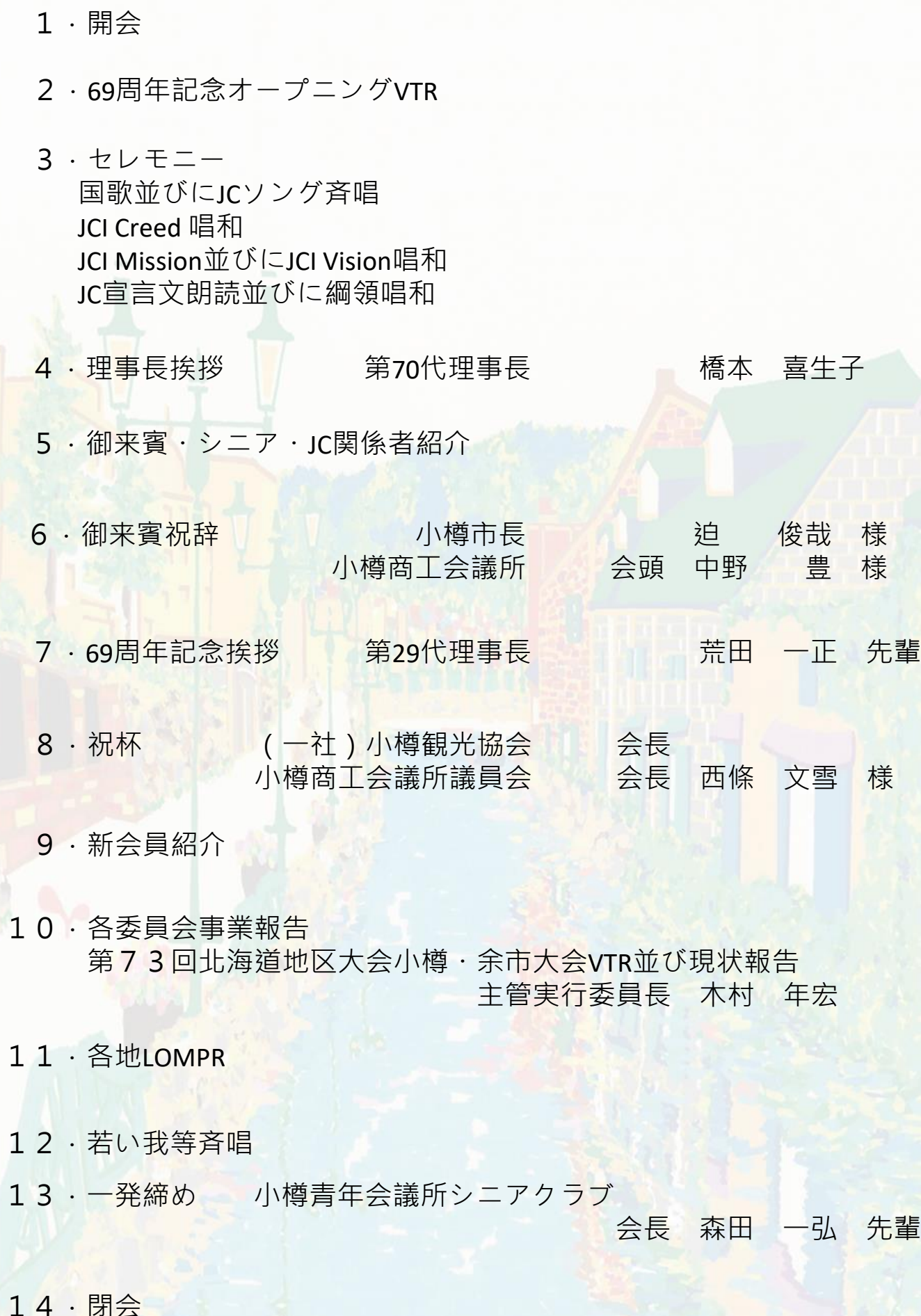
※2024年度小樽ブランディング委員会の事業である
「こども議会」を行う小樽市議会 本会議場

小樽青年会議所創立69周年記念懇親会
～69年の歴史と伝統の懸け橋～

2024年度スローガン

Bridge to the future

開催日時 2024年6月18日(火) 午後7時
会場 グランドパーク小樽5階 樹林

- 
- | | | | | |
|----|-----------------------------|--------------------------|---------------------|-------|
| 1 | ・開会 | | | |
| 2 | ・69周年記念オープニングVTR | | | |
| 3 | ・セレモニー | | | |
| | 国歌並びにJCソング斉唱 | | | |
| | JCI Creed 唱和 | | | |
| | JCI Mission並びにJCI Vision唱和 | | | |
| | JC宣言文朗読並びに綱領唱和 | | | |
| 4 | ・理事長挨拶 | 第70代理事長 | 橋本 | 喜生子 |
| 5 | ・御来賓・シニア・JC関係者紹介 | | | |
| 6 | ・御来賓祝辞 | 小樽市長
小樽商工会議所 | 迫 俊哉 様
会頭 中野 豊 様 | |
| 7 | ・69周年記念挨拶 | 第29代理事長 | 荒田 | 一正 先輩 |
| 8 | ・祝杯 | (一社)小樽観光協会
小樽商工会議所議員会 | 会長
会長 西條 | 文雪 様 |
| 9 | ・新会員紹介 | | | |
| 10 | ・各委員会事業報告 | | | |
| | 第73回北海道地区大会小樽・余市大会VTR並び現状報告 | | | |
| | 主管実行委員長 | 木村 | 年宏 | |
| 11 | ・各地LOMPR | | | |
| 12 | ・若い我等斉唱 | | | |
| 13 | ・一発締め | 小樽青年会議所シニアクラブ | 会長 森田 | 一弘 先輩 |
| 14 | ・閉会 | | | |

【一般社団法人小樽青年会議所 第70代理事長 挨拶】



理事長 はしもと きよこ
橋本 喜生子

改めまして、一般社団法人小樽青年会議所第70代理事長を
預らせていただいております、橋本喜生子と申します。

2024年度もすでに半年が過ぎ、折り返しの時期となりましたが、
皆様には日頃より私たちの活動、運動に対しまして深いご理解と
お力添えをいただいておりますことを心から厚く御礼申し上げます。

また、本日は大変お忙しい中、小樽青年会議所創立69周年記念懇親会にお越しいただきまして誠に
ありがとうございます。小樽青年会議所は、昭和30年6月に全国で69番目のLOMとして認証された
ため、今年の記念式典は特別な意味合いを感じているところでございます。同時にこれまで
小樽のまちのために弛まぬ努力で歴史と伝統を紡いでこられた先輩諸賢に心より感謝申し上げます。

さて、今年の9月6日・7日・8日に第73回北海道地区大会 小樽・余市大会が開催されます。
小樽青年会議所としては10年ぶりの開催となっておりますが、今回は複合主管という特性を
活かして、互いの地域の魅力を最大限に引き出した地区大会を構築し、北海道地区協議会のみなさま
の一年間の集大成の場を最高の形で設えることができるように準備を進めているところで
ございます。現在、実行委員長、各部長を中心として、議案に向き合う苦しい日々が続いて
おりますが、必ずこの地域の発展、そしてLOMの成長の機会となるように強い信念を持ちメンバー
一丸となって邁進してまいります。

最後になりますが、今年のスローガンは「Bridge to the future」
私たちが人とまちとを未来へつなぐ懸け橋となるという意味を込めて掲げさせていただいて
おります。一人ひとりの強い熱意と信念が人の心を動かし、まちを輝かせる。その強い決意のもと、
残り半年、地区大会、全事業をやり遂げ来年へとつなげてまいります。

皆様におかれましては、今後とも変わらぬご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げますとともに
皆様の益々のご健康とご発展をご祈念申し上げ、理事長挨拶にかえさせていただきます。



(一社) 小樽青年会議所上半期事業報告

【1月第一例会報告】



1月13日、新年懇親会を開催しました。

設え担当は竹田恭平委員長率いる拡大交流委員会です。各地LOMの新年交礼会に出席させていただき皆様と交流を深め、そして本年行われる第73回北海道地区大会小樽・余市大会への意気込みを皆様の前で発表させていただき、ご来場された皆様に敬意と感謝の意を示すことができ、同じ北海道を元気にしたいという想いを持つ仲間として、より強い想いを持ち走り切る覚悟につながりました。

【2月第一例会報告】



2月10日～17日は小樽雪あかりの路が開催されました。小樽美術館の中庭では新会員が中心となり制作した巨大すべり台は長蛇の列となり、叫び声や歓声が響き渡り迫力あるすべり台を楽しんでいただけました。

また、浅草橋での出店は香ばしい匂いにつられ、お肉・海鮮物と双方引けを取らない人気となり、ホットワインやホットココアを片手に観光客の方々にも楽しんでいただけました。

余市青年会議所の応援もあり巨大すべり台、出店共に全員で運営できたこと、そしてご来場いただいた皆様には会員一同心より感謝いたします。

【3月第一例会報告】



3月27日、小樽市議会本会議場にて松岩一輝委員長率いる小樽ブランディング委員会による「小樽が選ばれるまちになるための地域ブランディング」が開かれました。講師に情報番組「イチオシ!」のMCでもあった、元HTB北海道テレビ放送アナウンサーで、現在は株式会社ゲート代表取締役の国井美佐様に小樽の魅力とPR方法についてブレインストーミング形式でご講義いただき、メンバー一人ひとり改めて小樽の魅力を見つける良い機会にもなり、その魅力をどのようにPRすればメディアに取り上げてもらえるのか、その秘訣や広報の大切さを知ることができ、これを踏まえて独自の魅力を発信し小樽が選ばれる街になるように前向きに取り組む意識を醸成できました。

【4月第一例会報告】



4月10日、小樽市民会館にて小久保貴章委員長率いる総務運営委員会による「小樽青年会議所の活動と運動から見てくるもの～未来の小樽を担う者へ～」が開かれました。9名の小樽市役所職員の方々にご参加いただき、第一部では「小樽青年会議所の必要性和重要性」と題し、2005年に小樽青年会議所第51代理事長を経験された森田一弘先輩と2017年、小樽青年会議所副理事長をご経験された本間貴之先輩にインタビュー形式で、貴重なお話をいただきました。第二部では「小樽青年会議所とまちの関係性」と題し小久保委員長と小樽青年会議所第57代理事長の倉本賢雄先輩と小樽市役所総合政策部企画政策室主幹の丸田健太郎氏の3名で対談をし、その中でJCとまちとの関係性についてお話を伺い、まちの事業においても大切な組織であり「JCは縁の下の力持ち」というお言葉をいただき、積み上げたまちへの想いをつなげていく大切さを知るきっかけとなりました。

【5月第一例会報告】



5月16日、無尽ビルにて5月第一例会「さぁやるぞ地区大会！～第73回北海道地区大会小樽・余市大会の先に～」が開催されました。本例会では第一部で、地区大会についてのプレゼンテーション、現段階での各部会報告を行い、一人ひとりに自分ごとに捉えていただけるような内容を参加者の皆様にお伝えしました。第二部ではメイン事業として発信するAT(アドベンチャートラベル)について「ATの可能性～北海道の知られざる魅力とは～」と題し、昨年の北海道ATワールドサミットにも参加し、小樽のAT開発の先駆者でもある高橋真史(たかはしまさふみ)氏による講演会を行いました。なぜ今ATが必要なのか、どんな可能性があるのか、小樽の観光にどのような影響力があるのか、ご自身の経験などを踏まえご講演していただき、とても興味深い内容を聞くことができました。

～下半期活動内容日程～

- 6月18日 6月第一例会 小樽青年会議所創立69周年記念懇親会 担当：拡大交流委員会
- 6月23日 6月第二例会 道南エリアスポーツ大会 岩内大会 担当：総務運営委員会
- 7月26日～28日 7月第一例会 第58回おたる潮まつり 担当：おたる潮まつり実行委員会
- 8月 7日 8月第一例会 新会員例会 担当：新会員アカデミー
- 8月30日 8月第二例会 地区大会決起会 担当：地区大会主催実行委員会
- 9月 6日～8日 9月第一例会 第73回北海道地区大会 小樽・余市大会 担当：地区大会主催実行委員会
- 10月26日 10月第一例会 担当：小樽ブランディング委員会
- 11月22日 11月第一例会 送る会 担当：60年組
- 12月 6日 12月第一例会 次年度アワー 担当：次年度三役
- 12月15日 クリスマス家族会 担当：拡大交流委員会



・第63回北海道地区大会小樽大会 理事長応援メッセージ

【一般社団法人小樽青年会議所 第60代理事長 荒田 純司先輩】

私が経験した第63回大会の15年前、第48回大会を小樽JCが主管した時の先輩が、後輩（当時の私たち）に引き継ぎが出来てようやく自分たちの地区大会が終わった気がする、と話されていました。

当時はそんなに長く思いを持ち続けられるものなのかなと思ったものですが、後輩が地区大会に挑戦してくれたおかげで、私も肩の荷を下ろすという感覚を持たせていただきました。現役のメンバーに向けた「地区大会頑張れ！」には、その先輩が経験された様々なものが詰まっているのだと思います。

地区大会の日まで、時には五里霧中をさまようこともあるでしょうが、仲間のために持てる力を出し切り、小樽JCと余市JCが力を合わせて活動する日々の先には、地区大会成功という頂が待っています。その頂への道程をみんなで歩み、地区大会後もJC卒業後も、ずっと語り継げる豊かな経験を積んでいってください。

本日の小樽JC創立69周年、誠におめでとうございます。



【第73回北海道地区大会小樽・余市大会 主管実行委員長挨拶】

【主管実行委員長 木村 年宏】

第73回北海道地区大会小樽・余市大会の主管実行委員長を仰せつかり、早くも地区大会開催まで3か月を切りました。小樽・余市大会に対しましてご支援、ご協力を賜り心より厚く御礼申し上げます。

本大会はテーマを「Arch(アーチ)～世界が憧れる北海道へ～」と題し、北海道を代表する観光地である小樽・余市から全道に住み暮らす人たちにとって当たり前だった自然を更に輝かせ、全道へ希望のアーチを懸け世界が憧れる北海道を目指していく地区大会を構築します。10年前の小樽大会を知る現役メンバーは全道でもかなり少なくなりましたが、この大会がとても印象に残っていて、自分の子どもに「煌」という字を使ったというメンバーもありました。先輩達が積み上げてきた功績に泥を塗らないように、少しでも追いつけるように精進して参りますので、応援、ご指導ご鞭撻をどうぞよろしくお願いいたします。

第73回北海道地区大会小樽・余市大会 部会紹介

広報懇親部会

- ・総合広報
- ・大懇親会

部会長
余市青年会議所
水島 光

総務式典部会

- ・大会式典
- ・卒業式

部会長
(一社)小樽青年会議所
林 大喬

事業部会

- ・オープニングセレモニー
- ・メインフォーラム

部会長
(一社)小樽青年会議所
西條 公敏



第73回北海道地区大会小樽・余市大会
ホームページ随時更新中！

QRコードを読み取り
是非ご覧ください！



・第63回北海道地区大会小樽大会 高橋 雅孝実行委員長インタビュー

【木村】当時実行委員長として大切にしていた行動はありますか？

【高橋】私自身、素晴らしい知識やテクニク、人脈などを持ち合わせていませんので、せめて時間だけは誰よりも多く注ぎ込むようにしていました。又、メンバーへのフォローが必要な時は極力気が付かれないようにサポートをするよう意識していた位です。あとは意識はしていませんでしたが地区運とLOMのメンバーに恐怖とプレッシャーを与え続けていたかもしれない（笑）。

【木村】「地域活性化だからいいおたるく北海道うまいもん市」で印象に残っていることはありますか？

【高橋】印象に残っているのは土井部会長の姿ですね。自分が思い描いたベストビジョンを実現させることだけに集中していた姿が鮮明に焼き付いています。『雨が降ったらどうしよう？』とかは微塵も考えていませんでしたからね（笑）。特に西部警察をオマージュし、表現した入場シーンには、300人前のホルモンを焼きながら『おっ！』とつい声を上げてしまったのを覚えています。当時公益性において難題が課されていた大懇親会を無事に開催できたのは土井部会長の頑張りが大きかったと思います。



【木村】地区大会における実行委員長としての役割はどのようなものとお考えでしょうか？

【高橋】対メンバーに関してであれば、色々と難しく考えずにメンバーへの気遣いをしっかりとするのが大切かと。隊長的な役割をイメージされがちですが、そこは各部長がしっかりと果たしてくれればいいです。それぞれの事業を構築、実施するにあたり、部会長やメンバーたちが最大限の力を発揮できるような環境を整えてあげることが役割なのかなと思います。

【木村】LOMとして地区大会に対して、どのように向き合うことが大切でしょうか？

【高橋】『今年は地区大会の一年だ』と思っただけでいいかな。地区大会は大変だというイメージが強いと思いますが、実際に負担は大きいものなので物理的な比重がある程度傾いてしまふのは致し方ないと思います。ですが、あくまでもその年のLOM事業の一部であって、LOM全体が地区大会のことばかり考えてしまっただけではよくないと思います。地区大会を開催する為の2024年度小樽青年会議所ではなく、あくまでも橋本理事長率いる2024年度の小樽青年会議所であるべきかと思っています。

【木村】地区大会を通して、メンバーにはどんなことを考えてほしいと思いますか？

【高橋】そこは現役の皆様方が考えることであって外野がとやかく言うことではないのかなと思います。自分達が描く地域のビジョンを実現させるために、地区大会を通してどのようなことを発信したいのか。自分達がより逞しくなるために何を経験し、何を学びたいのか。そこをメンバーがしっかりと共有した状態で地区大会を開催するのが大切で、地区大会を機に『変わった』のではなく『変えて行く』という気構えで臨んでいただきたいと思っています。

後期新会員紹介

①氏名 ②勤務先 ③活動への意気込み



①秋田 雄亮
②宗教法人 太平寺
③伝光録の一節「一度憤発して深く契処(かいしょ)あるべし」の気持ちに胸に、主体的に動ける人材を目指して精進したいと思います！



①浦田 裕介
②近藤工業株式会社
③他業種の方々との交流を深めながら自己成長と小樽の発展に少しでも貢献できるよう尽力致します！



①遠藤 隼斗
②ロイヤルジャパン株式会社
③小樽青年会議所の先輩方から沢山の事を学び、しっかりJC活動で小樽市に貢献し、それらを通じて私自身の成長に繋げて行きたいと思っています！



①川村 剛一
②株式会社恵新自動車学園
③生まれ育った小樽の為に、出来る事に取り組んでいきます！

SNS紹介

～新会員募集中～

ホームページ・インスタグラム・フェイスブック 随時更新中！

～下記QRコードよりフォローよろしくお願ひします～



編集後記

深緑のみぎり、貴殿におかれましてはますますご繁栄のこととお慶び申し上げます。総務運営委員会委員長の小久保貴章と申します。この度小樽青年会議所創立69周年記念懇親会「いぶき」の編集に携わらせていただきました。「いぶき」とは何のためにあるのかを、この度改めて考えさせていただき、シニアの皆様と我々現役メンバーとのつながりを大切にするものであり、どんな活動をし、どんな想いで運動をおこなっているのか、それを皆様に知っていただき、皆様からの信頼を得る媒体である必要があるのではないかと考えました。そんな「いぶき」をただの報告媒体にするのではなく、これからも皆様とのつながりと信頼を紡いでいけるものにしていけるよう日々の活動と運動に邁進してまいります。今後ともご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。

アンケートのお願い



こちらのQRコードを読み取り、小樽青年会議所創立69周年記念懇親会と「いぶき」へのご感想アンケートにご協力ください。皆様からのご意見を参考により伝わりやすい「いぶき」、皆様が楽しみになるような周年記念懇親会を目指してまいります。また受付にて紙資料もご用意しておりますので、QRコードでの回答に不都合がある方は誠にお手数ですが、そちらをご利用ください。